

令和2年度産地創生事業（第1回）採択案件の概要（1）

「大田生まれ(子牛)、大田育ち(肥育牛)」の御当地和牛の首都圏進出
～地域けん引肥育農場を核とした
石見銀山和牛の生産強化～

石見銀山和牛産地拡大協議会

- 市内の大型肥育農場が「石見銀山和牛」を増頭し、首都圏販路を開拓。
- 肥育農場の生産拡大にあわせ、地域内から子牛を供給するシステムを確立。
- リース牛舎を整備して子牛を生産する新規就農者を継続的に確保。

目標：生産額3億円増、新規就農者3名



三瓶山麓での放牧風景と石見銀山和牛肉

県オリジナルぶどう品種
「神紅」による産地化

～神紅による中山間地域の“ひとづくり・ものづくり・まちづくり”～

邑南町果樹産地協議会

- 県が開発した「神紅」を核とした新たなぶどう産地をゼロから形成。
- 「ここでしか味わえない」邑南町A級グルメとコラボした「ここにしかない商品」を開発。
- ウィークリーマンション型リースハウスにより新規就農者を継続的に確保。

目標：面積2.6ha (R1:0ha)、新規就農者7名



県オリジナル品種「神紅」

離島の不利を逆手にとった 地産地消型水田園芸の推進

～隠岐圏域をマーケットに
水田園芸産地を確立～

隠岐農産物流通促進振興協議会

- 隠岐地域内での野菜需要に基づく計画的な生産を実施。
- 集出荷施設の整備により島内及び島前・島後間の流通を効率化。
- リースハウスの整備により、生産の核となる新規就農者を継続的に確保。

目標：販売額1億円(R1:0.7億円)、新規就農者2名



島内産直市の様子



島内での野菜生産

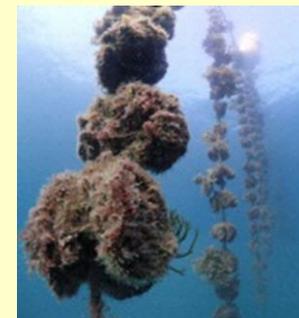
海外輸出を核とした いわがきのブランド力強化

～若い世代にとって
漁業を魅力ある仕事に！～

海土のいわがき「春香」生産者協議会

- 日本一の隠岐いわがきを、香港等の海外へ輸出し、知名度・ブランド力を大幅に向上。
- 海外マーケットで勝ち抜ける品質を確保するための新たな養殖手法を導入（全国初）。
- 漁場管理のICT化で経験、勘に頼らない漁業経営を可能にし、新規就業者を確保。

目標：販売額3億円(R1:0.5億円)、新規就業者10名



いわがき「春香」の養殖の様子